

平成24年度 第2回国有林モニターアンケートの結果概要

四国森林管理局では、より一層「国民の森林」に相応しい国有林の管理経営を推進するため、地域の皆様に国有林モニターをお願いし、ご意見をいただくこととしております。

今回は「木材の利用について」を中心に、国有林モニターの皆様にアンケートにご協力いただきましたので、その結果概要をご紹介します。

アンケートの結果につきましては、今後の四国森林管理局の取組を進めていく上での貴重なご意見として参考とさせていただきます。アンケートにご協力いただいた国有林モニターの皆様、ありがとうございました。

○ 回答者数 モニター26名中 23名から回答がありました。

I 木材の利用について

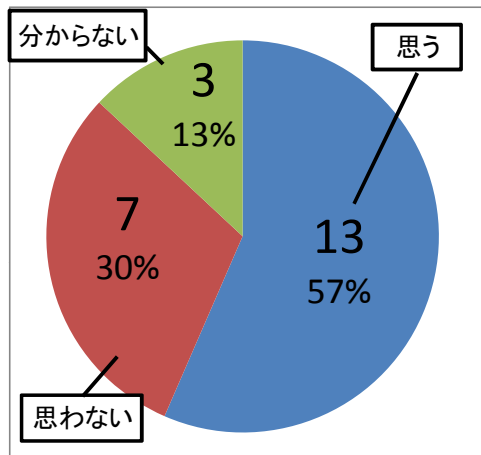
平成22年に「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が施行されました。

我が国では、戦後、造林された人工林が資源として利用可能な時期を迎える一方、木材価格の下落等の影響などにより民有林を中心に森林の手入れが十分に行われず、国土保全など森林の多面的機能の低下が大いに懸念される事態となっています。

このような厳しい状況を克服するためには、木材を使うことにより、森林を育て、林業の再生を図ることが急務となっています。

本法律は、こうした状況を踏まえ、現在、木造率が低く今後の需要が期待できる公共建築物等をターゲットとして、国が率先して木材利用に取り組むとともに、地方公共団体や民間事業者にも国の方針に即して主体的な取組を促し、住宅など一般建築物への波及効果を含め、木材全体の需要を拡大することをねらいとしています。

問1. 最近、木造の公共建築物等(学校や市役所、体育館、駅等)が増えてきていると思いますか。

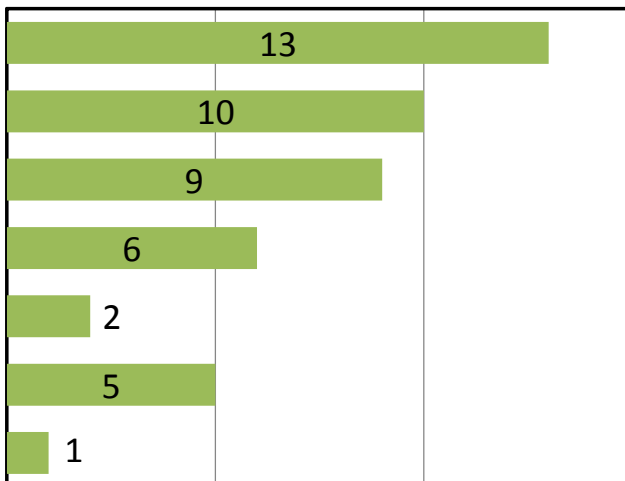


①を選んだ方で、最近建てられた木造の公共建築物等で印象に残っているものとして

- ガードレール、池田球場のベンチ(徳島県)
- 那賀町小学校(徳島県)
- 千年の森(徳島県)
- 交番(香川県)
- 愛媛県武道館(愛媛県)
- 三の丸公園の休憩施設(愛媛県松山市)
- 東京スカイツリータウン、東京ソラマチ(東京都)

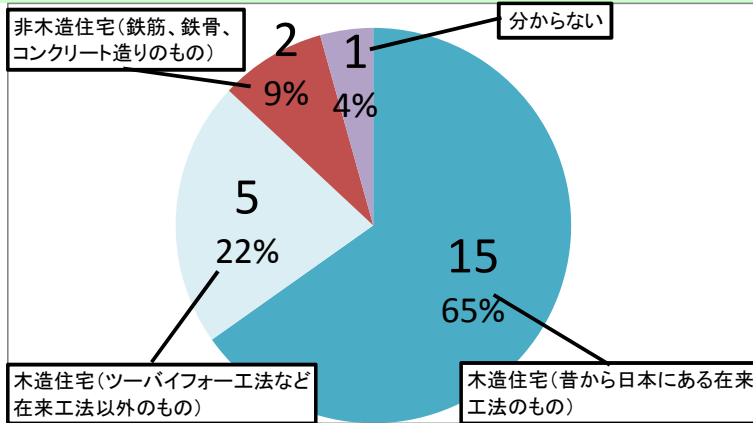
などがありました。

問2. 今後、どのような施設に木材を利用していくことが望ましいと思いますか。以下の中から2つまで選んでください。

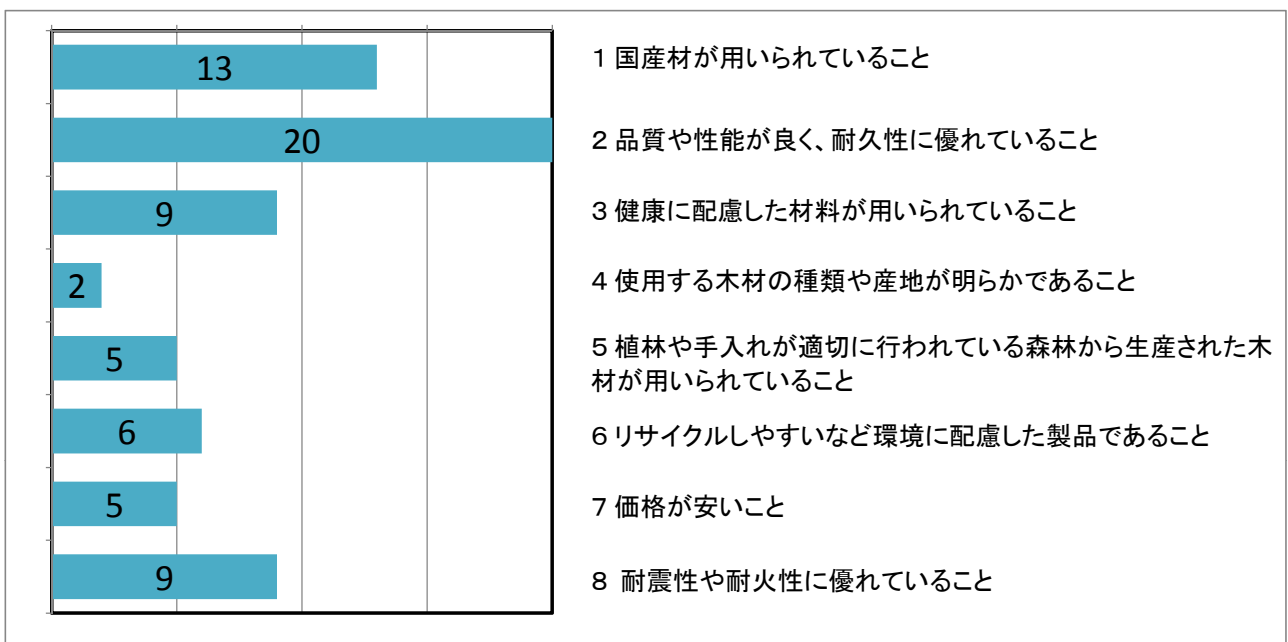


- 1 小学校や中学校の校舎などの学校施設
- 2 病院などの医療施設や老人ホームなどの福祉施設
- 3 スポーツ施設、図書館や音楽ホールなどの社会教育施設
- 4 駅などの公共交通機関施設や電車等の内装
- 5 銀行やコンビニ等の民間施設
- 6 幼稚園、保育園や公園にあるすべり台などの遊具
- 7 花壇、柵やガードレールなどの道路沿いにある施設

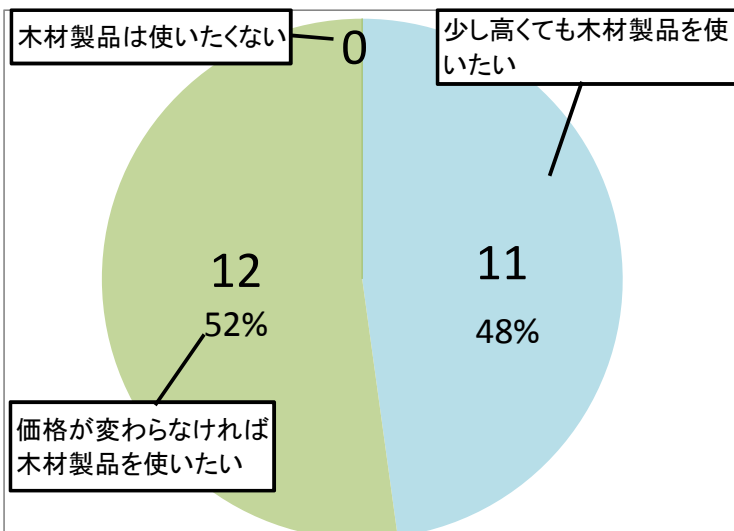
問3. あなたが今後、新たに住宅を建てたり、買ったりする場合、どんな住宅を選びたいと思いますか。



問4. 仮に、木材を利用した住宅を選ぶ時は、どのようなことを特に重視しますか。以下の中から3つまで選んでください。



問5. あなたは、木材を使った製品(家具、日用品等)を使いたいと思いますか。



木材を使いたい理由として

- 長く使えるから
- 柔らかく、優しく感じるから

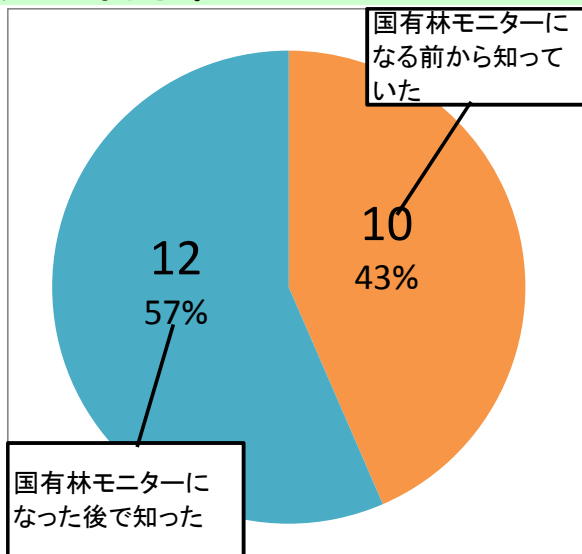
などがありました。

II 治山事業について

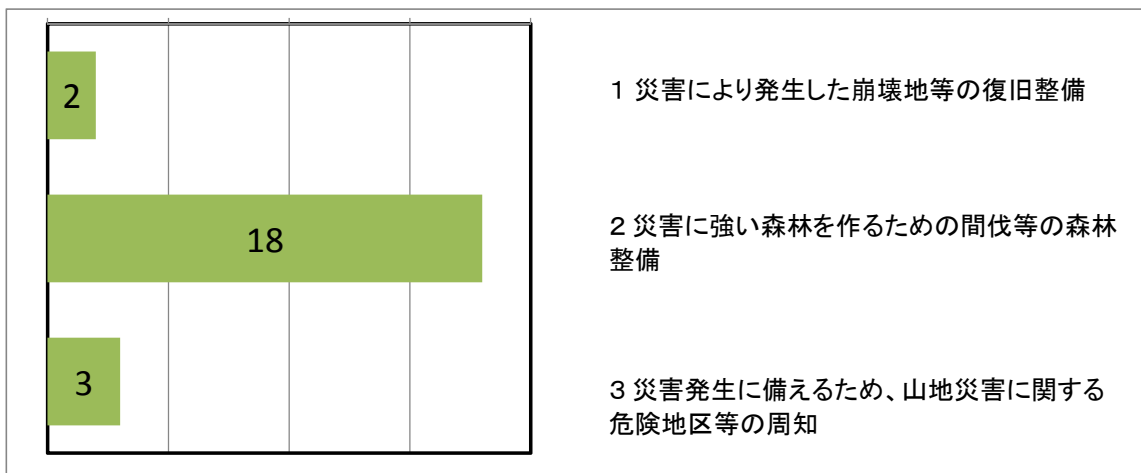
日本の国土は、険しい山々が続く複雑な地形で、川幅の狭い急流も多く、山崩れや土石流、地すべりなどの山地災害の危険性を常に抱えています。また、年間降水量も世界平均の約2倍(約1,800mm)と多いことから、毎年約2,000箇所もの山地災害が発生し、特に梅雨期や台風の時期等には、局地的な集中豪雨により大きな被害がもたらされています。

四国森林管理局が管理している国有林の多くが四国の中央部を東西に貫く四国山地や重要な水源の源流域に位置していることから、国土保全対策として、管内の国有林の93%を保安林に指定し、森林が持つ水源かん養、土砂の流出や崩壊の防止等多様な機能の維持向上のため、間伐や複層林への誘導等の森林整備を積極的に進めています。また、集中豪雨や地震等により発生した崩壊地等を治山施設の整備により早期に復旧し、下流への被害を未然に防止するなどの治山事業にも取り組んでいます。

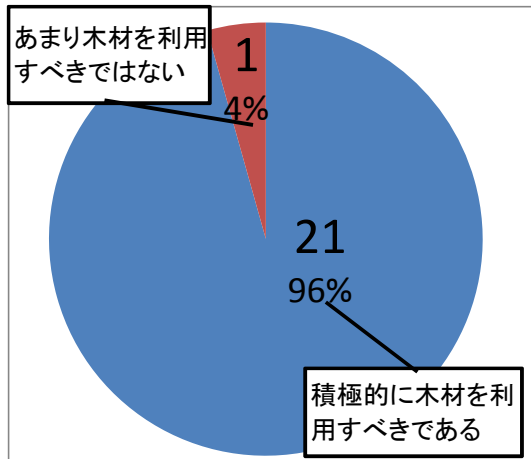
問6. 四国森林管理局が国有林や民有林内において、山地災害の復旧等(治山事業)に取り組んでいることを知っていましたか。



問7. 生活の安全・安心向上のため森林を管理していく上で、どのようなことに最も優先的に取り組む必要があると思われるですか。



問8. 治山事業等では、木製の治山えん堤や土留工等を積極的に取り入れ、間伐材の利用促進等に取り組んでいます。治山施設等に木材を利用することについてどのようにお考えですか。

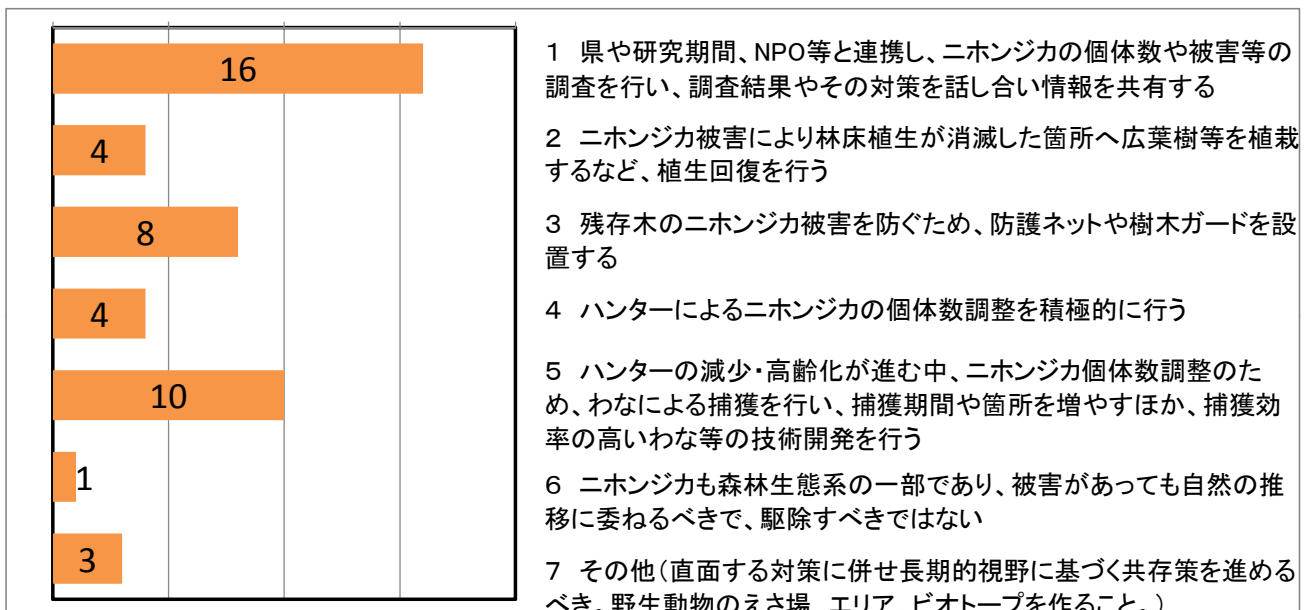


あまり木材を利用すべきではない理由として

- 耐久性の問題
- などがありました。

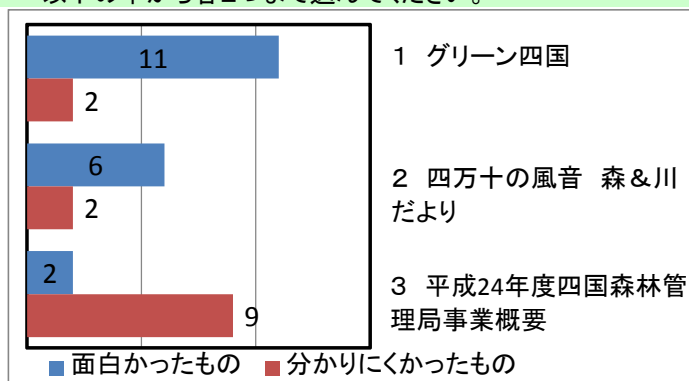
Ⅲ 森林の保護について

問9 近年、ニホンジカによる森林への被害が問題となっていますが、この対策として特にどのような取組を重点的に考えますか。以下の中から2つまで選んでください。



Ⅳ その他

問10 HP掲載資料などの中で、面白かったもの、分かりにくかったものを教えてください。以下の中から各2つまで選んでください。



その他で面白かったものとして
○ 四国の森八十八箇所マップ

分かりにくかったものとして
○ こども森林館の紹介

などがありました。

問11 これまでのモニター活動で、森林・木材・国有林等に対する考え方が変わったことが有りましたらご記入ください。

(主な意見)

- 国有林管理の果たす役割を知ることができた。機会ある毎に家族や友人との話題(情報提供・PR)になっている。
- 治山事業についての知識が増えた。
- 森林への取組がしっかりされていることが、十分伝わり、知り、学べています。
- 森林の保護や環境の保護、国土の保全等より一層進めなければならないと感じた。また、住宅建築における国産材需要の拡大にもっと法的な強化策が必要である。
- 全森林に占める国有林の比率がこれほど低いとは意識していなかった。管理放棄や管理不十分で荒廃した私有林・地方自治体保有林が国有林に多大な悪影響を与えており、この防止策を早急に進める必要がある。
- 伐採の現場を見学し、大変な仕事なのに木材の値段が安いのにびっくりした。国が積極的に援助をして働きがいのある仕事してほしい。
- 大型機械を導入しているが、現地作業員は高齢者が多い、山林全体で間伐・枝打等手入れが出来ていないことが分かった。
- 生活面で森林から大きな恵みを与えられていることに気づいた。
- 造林や治山が主と考えていたが、森は人間生活全般に関わることを知った。例えば子供たちの教育の場になる教室である。
- 広大な国有林を少ない人員で管理をされている事に驚いた。木材の需要が国内では非常に少なく、大きく育った杉などが安い価格でしか販売されていないこと。そのことによって、国有林の手入れにも支障があることが心配である。
- 森林、国有林等は当局やボランティアの人たちによって保護されているということを知ったこと。

IV その他ご意見・ご要望

(主な意見)

- 森林管理局の広報活動はモニターだけにとどまらず、一般消費者、県民への周知が今後の森林への理解の上で必要ではないか。
- ハンターにもっとスポットを当て、シカ被害の現状等を国民にもっと知らせてほしい。ハンターになるにはどうすればよいのか、ハンターの各県数等も知りたい。
- 全国的にダムや湖沼、ため池の耐震策としてえん堤補強が長期計画で進められているので、そういったところにも間伐材を活用してほしい。コンクリート製構造物は木造に対し大災害時破壊倒壊後の復旧が困難であると共に残骸処分にも課題が多いと思う。
- 木材の利用方法として、木の持つ「あたたかさ、素朴さ」という特質を活かして、老人施設や図書館など、穏やかさが求められる場所でもっと使われると良いと思う。北欧の幼稚園向けのおもちゃで、ログハウスキットというものがあるが、このようなセット自体が日本でもあれば良いと思う。
- 間伐材を使った漁礁兼防潮堤をもっと検討してはどうか。
- 山林は国民の生活を守る切札であり、行政市民がもっと目を光らせ、外国人の購入等、法規制を厳しくする必要があるのではないか。
- 森林管理局が、小中学校の授業で森林の大切さ等について週1~2で教育を行ってはどうか。
- 国有林はある程度管理されているが、私有林の管理は行き届いていないことが心配である。
- 治山工事に間伐材を使用することは良いと思う。
- 日本の国有林は森林全体の3割で7割は私有林である。国有林は全森林に比べて少ないため、大多数を占める私有林との一体的な管理等が重要な課題だと思う。